

愛知県後期高齢者医療広域連合議会 (2月10日 わしの恵子議員)

後期高齢者医療保険料が平均年2,622円値上 年金は下がり、消費税は増税する…弱い者いじめの政治でいいのか

2月10日の愛知県後期高齢者医療広域連合議会（議員34名。うち共産党は2名）で、愛知県の後期高齢者医療制度の保険料の値上げ案や2014年度予算案などが審議され、わしの恵子議員は、「保険料値上げをやめよ」「短期保険証の発行をやめよ」などと追及しました。

保険料の改定案

- * 一人あたり平均年額 79,962円→82,584円
- * 均等割額 43,510円→45,761円
- * 所得割率 8.55%→ 9.00%

年金は3年連続で引き下げ。消費税増税まで

後期高齢者医療保険料は4月から一人あたり平均で年2,622円、3.28%の値上げが提案されました。夫の年金が260万円、妻が80万円以下のご夫婦の場合には、年間9300円もの値上げになります。

年金は昨年12月受給額から1%、26年度1%、27年0.5%と3年連続で計2.5%も減らされ、消費税は今年4月から8%に、さらに27年10月からは10%にまで引き上げられようとしています。そんな中での、後期高齢者医療の保険料の値上げは、75歳以上の高齢者に耐えがたい負担増を強いるものです。わしの恵子議員は連合長（河村市長）に「消費税増税や保険料値上げをどう思うのか」とたどしました。河村市長は「あげるのには反対だけど、総理大臣でないの・・・」と無責任な答弁に終始しました。

「基金」を取り崩して保険料の抑制を

わしの議員は、保険料の値上げ幅を抑えるために、積み立てている「財政安定化基金」をすべて活用し、保険料を引き下げよう求めました。ところが広域連合は「基金活用額を前回改定時以下とするよう国から指示があった」からと、国の言いなりに、前回改定時と同額の94億円を取り崩すのにとどまり、同基金を約27億円残してしまっただけです。

わしの恵子議員は値上げの条例案と予算案に対し反対討論を行い、保険料の値上げにきっぱり反対しました。広域連合議会には日本共産党から、わしの恵子と、犬山市の水野議員が選出されていますが、県下34人の議員のなかで、反対をしたのは日本共産党の2人と三好の加藤議員（予算には賛成）だけ。質問も一切行われませんでした。安城市選出の議員が「値上げに賛成の討論」をしました。理由は「財政安定化基金」の

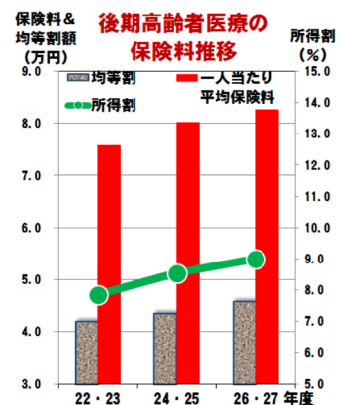
年金収入別保険料値上げ例(妻の所得割額はいずれの例も0円)

夫の年金(妻の年金80万円以下)		現行	改定	値上
79万円	夫	4,300	4,500	200
	妻	4,300	4,500	200
	計	8,600	9,000	400
168万円	夫	12,900	13,600	700
	妻	6,500	6,800	300
	計	19,400	20,400	1,000
192.5万円	夫	38,600	40,600	2,000
	妻	21,700	22,800	1,100
	計	60,300	63,400	3,100
238万円	夫	107,400	113,100	5,700
	妻	34,800	36,600	1,800
	計	142,200	149,700	7,500
260万円	夫	134,900	142,000	7,100
	妻	43,500	45,700	2,200
	計	178,400	187,700	9,300

活用をしたという努力を評価したものです。

高齢者いじめの制度は一刻も早く廃止を

愛知県の後期高齢者の保険料は2年ごとに値上げが繰り返されています。それは75歳以上の方だけを別勘定にして、医療費の増加に応じて保険料が自動的に引き上げられる仕組みが作られているからです。高齢者いじめのこんな制度は一刻も早くなくすべきです。



この制度が導入された時の厚生労働大臣が、都知事に当選した舛添氏です。その後、民主党政権が「廃止」の公約を投げ捨ててしまいましたが、高齢者のみなさんは、切実に「廃止」を願っています。そんな願いをしっかりと受け止めて頑張っています。

請願はすべて「不採択」

保険料値上げ中止などを求める請願2件の審査は、わしの議員が全員協議会（非公開）で請願の趣旨説明を行い、採決にあたり、水野議員が賛成討論を行いました。